

長野県議会

創志会だより

No.7

発行責任者 長野県議会 創志会 会長 保科俊教 〒380-8570 長野市南長野福下692-2 長野県議会議棟 TEL 026-232-0111(内線 4084) FAX 026-235-8852 E-mail jimuz@soushikai.net ホームページ http://www.soushikai.net/



正副議長に議会運営に関する要望をする

六月定例会の会期中に寺島幸義議長は、議会基本条例制定調査会の作業部会の委員を招集し、創志会等の議会改革の要望に応え、「議会基本条例の具現化」に向けて意見を求めました。求められた意見は、正副議長及び委員会委員の任期見直しについての検討、また、議会改革推進会議については、議会運営委員会と重なる事項もあるため、議会運営委員会の所管事項以外の具体的所管事項についての検討、そして、委員会の日程の延



「子どもの村 福岡」のセンターハウスで

家族と暮せない子ども 地域で新しい家庭を

「子どもの村 福岡」は、家庭で虐待を受けるなど社会的養護を必要とする子どもたちを、地域の支えによって養育されるべきとした、改正児童福祉法に基づき全国で初の「子どもの村」施設です。「子どもの村」はセンターハウスのほかに五つの家が建設されていて、すべて地元企業や市民の皆さんで支えられており、シングルマザーや看護師など、養育する里親を中心に、地域の皆さんとともに、家族と暮せない子どもたちと新しい家庭をつくっていました。



「子どもの村 福岡」の新家庭の家

議会基本条例の効果を

議会改革に向けては、二元代表制の一翼として執行部との緊張あるバランスを維持し、県議会の総意をもつて制定した『長野県議会基本条例』の効果を上げるために、引き続き積極的に議会の改革に取り組まれたいとして、条例に定めた『議会改革推進会議』の位置づけを明確にするなど議会基

正副議長の任期の是正を

議会改革を真に進めるため、そして、執行部と緊張ある対応をするためにも、正副議長と常任委員会の『申し合わせ任期一年』を撤廃すること、また、議会

具現化に向け動き始める 早速対応した寺島議長

六月定例会の会期中に寺島幸義議長は、議会基本条例制定調査会の作業部会の委員を招集し、創志会等の議会改革の要望に応え、「議会基本条例の具現化」に向けて意見を求めました。

研究会等も公開を

運営委員会の『全会一致を旨とする申し合わせ』は、議会運営上理解できる面もあるが、議会改革を進める上においては民主主義の原則に基づき、改革を意図し、多数決をもって決することなども要望しました。

議会改革

「地域主権」が現実となれば、地方に執行権と財源が移されることとなります。二元代表制の中で、行政の執行状況を監視する議会は、より一層議会の役割の重さが期待されます。創志会では、県民の皆さんに県議会の活動を分かりやすく、拓かれた県議会をめざすとともに、ややもすれば、執行部側の追認機関となりがちな姿勢を改め、政策研究や議会改革に取り組みむべきと、寺島幸義新議長に「議会運営に関する要望書」を提出し、議長から意欲ある回答を得ました。

長野県でもできるぞ!!

精密関連ものづくり産業への集積化と支援

創志会では本県の景気回復と雇用の安定的創出を図るよう、積極的な施策を講じるよう求めてきました。県は、長野県の経済は製造業を中心に回復の兆しが見えてきていると見通しを報告されたが、長野県経済の持続性ある発展をめざすために、創志会では福岡県の先進事例の視察調査を行いました。

人材育成とベンチャー企業を支援

「福岡システムLSI総合開発センター」は、大学等の頭脳資源や半導体関連企業・自動車産業の集積されている北九州地域を拠点に、世界をリードする先端システムLSIの開発拠点を目指しています。資金も人材もないベンチャー企業が、このセンターを利用して共同研究と開発をし、確実に製品化・事業化に結びつけています。長野県に集積している「精密関連ものづくり産業」が一層発展のために、



LSI総合開発センターの周辺環境の説明を受ける



レアメタル回収実験現場を視察(福岡県・柴田産業)

産学官が連携し人材育成や支援・交流・連携を図りに参考になると感じました。
※LSI 半導体(IC)の同意語



LSIのベンチャー企業の研究室を視察